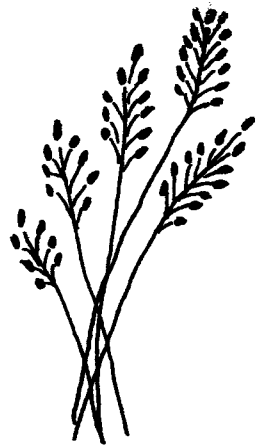




accha 通信

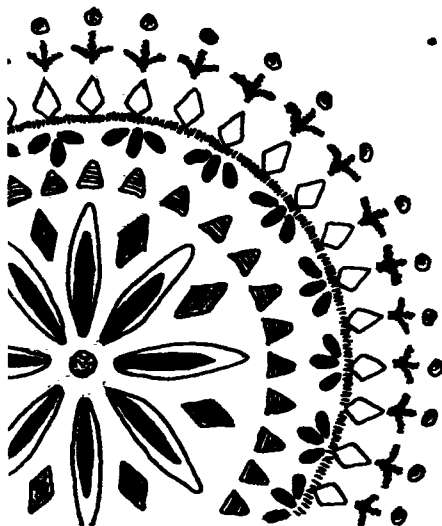
2008年10月 第7号



アチャ・3周年記念イベントのお知らせ

いつもフェアトレード、acchaへの暖かいご支援に、心から感謝とお礼を申し上げます。皆様のご支援に支えられ、acchaもこの12月で、丸3年を迎えることとなります。1年目より2年目、2年目より3年目と、ゆっくりではありますが、着々との地に根付いてまいりました。海を隔てた生産者のみなさんに、acchaの誕生が少しでもお役に立てたことを皆様と一緒に、喜び合いたいと思います。その喜びのイベント、「accha 3周年」を下記の日程で開催します。多くのおみなさまのご参加を、心よりお待ちしております。

- 🌿 **とき** 12月7日(日) 午後1時半～3時半
- 🌿 **ところ** 「天三おかげ館」 天神橋筋商店街3丁目5-15
アチャより徒歩3分
- 🌿 **ないうち**
 - 天然ねんど化粧品のおはなしと「手浴」体験など
ねんど(株)ポテクレイの社員さん
 - 落語 繁昌亭などで活躍されている
「四代目」笑福亭四笑さん
 - フェアトレードファッションショー
- 🌿 **協力券** 500円(フェアトレードのお茶代を含む)を宜しく
お願い致します。



...ねんど化粧品のコト...

多くの方々から好評の「天然のねんど」。先日、ねんどソープ(石けん)をご使用されている男性のお客様(50代前半)が、足のウヤ指がかさつき何をつけても治らず、思いきって、ねんどソープをすり込んだところ「一夜にしてキレイになった」と喜びとおどろきの声をお聞きしました。出張の時もいつもお供されているそうです。

“アチャ”ホームページのこと

アチャさんオープン時から、サポーターをやらせていただいています。これまで何回かアチャのホームページを作りたいという話を持ち上がりましたが、なかなか完成まで至らず、7月の終わりに、オーナーの阿字地さんから私に作成の依頼があり、快くお引き受けしました。これまでブログ(天神橋筋界隈ウロウロ日記)では何回もアチャさんをご紹介していますが、ホームページの作成は経験がなく、お引き受けしたものの少々不安はありました。インターネットを偶然ホームページを訪れた方が「一度、お店を覗いてみよう…」と書いてもらえること、既にアチャをご存知の方に最新の情報をお知らせすることを目的として、いろいろ構想を練りました。何とか試行錯誤を繰り返しながら9月6日にオープンすることができました。オーナーやサポーターの皆さんにも喜んでいただき、頑張った甲斐がありました。これからお客様やサポーターの皆さんのご意見、ご要望を取り入れながら、楽しく内容の充実したホームページに成長させてゆきたいと思っています。よろしくお願い申し上げます。



フェアトレードショップ アチャ <http://www.accha.jp>

正源太郎

ボランティアサポーター初体験!!

9月14日、九条の此花会館で行われるイベントにアチャさんがお店を出展されるということで、ボランティアサポーターとしてお手伝いさせていただきました。

私がフェアトレードに興味を持ち始めた頃、何気なく歩いているとフェアトレードの文字が目に入り、思わず中に入ったのがアチャさんのお店でした。そこで情熱を持ってフェアトレードを語られる千佳多さんに共感し、自分も何かお手伝いできないかとお願いしたのがきっかけです。今回は、初めて自分がやりたいと思い行動を起こしたボランティアでした。最初はどのようにいかわからず緊張していましたが、他のスタッフの方がとても優しく接し下さり、時間がたつとリラックスして接客することができました。自分が作ったものではありませんが商品が売れるととても嬉しく、生産者の人へ売れたよ!と実際に伝えたいという気持ちになりました。

また、私が1日接客をしていて思ったのは、フェアトレード商品を求めるお客さんも沢山いらっしゃいましたが、フェアトレードを知らなくても商品に興味を示し買っていく方も少なくありませんでした。そういう光景を見ると、フェアトレードの商品が安全面、コスト面、品質面で本当に良いんだということを実感することができました。これからも、より多くの人にフェアトレードを知ってもらい、自信を持って素敵な商品を提供していきたいです。そしてビジネスのひとつの形態として、どんどん拡大していただきたいと思います。次回ももっと商品を勉強して、フェアトレードの良さを消費者の方にきちんと伝え、より満足していただけるよう頑張りたいと思います。最後に、こういった経験をさせていただいたことへ感謝しています。ありがとうございました。

石川 茜

9月17日、NHK「地球ドラマチック」という番組でフェアトレードのドキュメントが放送されました。フェアトレード先進国イギリスらしい企画。若い彼らに学ぶことも多く、一緒に考えながら番組を楽しみました。

— 私達の制服は、どんなふうに作られているの？ イギリスの14歳の少年、少女3人が学校の代表として、インドへ向かいます。そして自分たちでフェアトレードの制服を作ろうというのです。— インドに着いた3人が綿花農家や衣料品工場を見て回ると、そこには驚く現実が。通常、大量の綿花を効率良く栽培するために、大量の農薬が使われます。女性や子供を含む農夫たちは、十分な防臭服など着ずに、農薬をまきます。結果、神経を病んで歩けず、床をほう人、農薬が誤って目に入り、目が見えなくなった人。衣料品工場の中には少女たちが13時間も働かせられ、約100円の日給しか支払われていない工場もあります。3人は言葉を失うくらいショックを受けます。

★★★★★ フェアトレードだと ★★★★★ 一方、フェアトレード農場では有機農薬が使用されています。子供たちが学校に行けるなど生産者の権利が守られている様子がうかがえます。労働者たちが生活や文化を大切にしながら働ける環境を、人々は明るい表情をしています。しかし、ここを頼むと手作業を割高になることがわかります。撮景場所は、インドの繊維産業が盛んなティルプル。店主のちがこさんと私がスタディツアーで出向いた地です。ピープルツリーのオーガニックコットン衣料もここを生産されています。私達もフェアトレード生産者を訪ねましたが、確かに生産者の権利が守られているように感じました。

— この番組のハイライトは、3人が最後に、いくつかの生産者から、値段か、デザインか、働く人たちの環境を考慮しながら、どこで作ってもらえばいいのか迷うところです。それは14歳とはいえ、自ら商品について十分な情報を得、フェアについて考え、何が自分たちに必要か悩む消費者の目でした。結局、男の子は、学校のみならず、機能的で少し安いシャツを。女の子はとことんフェアにこだわって可愛らしい手作業を割高なシャツを選びました。どちらもオーガニックコットンでした。

サポ-タ-★エミ

“闇の子どもたち”を見て

見ている途中で、思わず目を背けたいくなる場面がいくつかあった。ノンフィクションではないが、臓器移植をめぐり生々しい現実を反映した作品で、見終わって、とても重い課題をつきつけられたように思う。タイの孤児の子どもたちは、人身売買され、幼児性愛者の手にかけたり、売春を強要されエイズをうつされるなどの悲惨なめにあっている。客をとることをこころと、すごい暴力が待っている。あげくのほかに、エイズを発症した子どもたちは、黒いゴミぶくろに入れられ、生きたまま、ゴミと一緒に捨てられるのだ。人間の生命が、そして子どもたちが、こまごま痛めつけられている現実が、とてもショックだった。もう一方で、日本の富裕層の子どもが、タイで心臓移植を受ける。それもヤミのルートで。日本では15歳以下の移植は認められていない。アメリカでの移植を待つ時間はないのだ。そんなことになれば、わが子の命は助からないからだ。その心臓はタイの孤児が提供させられる。そしてその子は命をうばわれるのだ。こんな現実を知って私たちに出来ることは、すぐには思いつかない。でも、この現実をどうにかしたい。子どもたちを救いたい。その思いで自分に出来ることを考えていきたいと思った。 ★ 上田規美子 ★



フェアトレードの“欠点??”

フェアトレードについて、見識のある人や、人と話したことのある人なら気づいたことがあるでしょう。フェアトレードは、まだ“発展途中で、欠点が目につきます。

私も はじめて買ったスカートは、ファスターが最後まで上がりきらず、まるでウエストの都合を閉まらないような見た目になってしまいました。しかし、それは服の個性だと考え、不快には思いませんでした。長く愛用しているし、デザインも良く、自分に似合っていると思えました。商品自体だけでなく、性質上、その流通過程にも自然と関心が集まります。いくつかあるフェアトレード専門商社は少なからず比較の対象となります。とはいえ、まだまだ狭いフェアトレード業界。「あとこよりこっちの方がフェアだ」と言われども、無責任な偽装が横行している世間を前に、私は大した差だと感じられません。少しでも生産者を支え、環境にやさしく、消費者にとって安全な商品であれば、それはそれだけ価値があると思うからです。

フェアであることを強く期待されているからこそ関心が集まり、同時に批判も集まります。フェアトレードが好きだから起こるそのフェイト。もちろん！ 欠点を指摘されることが進歩の源です。

フェアトレードは幸せです。多くの人に支持してもらえる上に、悪い所がわかりやすい、指摘してもらいやすい、つまり、それらができなくなった時、発展は後退していくでしょう。小さく強く続けられる良さを店主阿摩地さんお大切にしています。どうぞ関心を持ち続けください。

★ Emi ★

フェアトレードショップ

accha



大阪市 北区 天神橋 3-2-20

TEL & FAX 06-6357-7739

E-mail: ft-accha@fork.ocn.ne.jp

H.P. <http://www.accha.jp>

Blog <http://ftaccha.blog38.fc2.com/>

Open 10:00 ~ 19:00 日曜日 定休日